

efit+ for TCU Ver.1.4.4.0 アップデート概要

2016年11月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.4.4.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for TCU Ver.1.4.4.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	TSモードのポート名変更
efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	TRK連続モード設定追加
efit+T 測量計算	B-E1-T51		
efit+T 線形計算	B-E1-T52		
efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		TRK連続モード設定追加
efit+T 平板観測	B-E1-T54		TRK連続モード設定追加
efit+T GPS観測	B-E1-T55		
efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		
efit+T 地籍観測	B-E1-T57		図根点観測の制限変更
efit+T Nikon通信OP	B-E1-T58		
efit+T 定点観測	B-E1-T59		

■ 地籍準則改定対応

地籍観測オプション

◆図根点観測

観測区分が「図根多角」で精度区分が「甲一」もしくは「甲二」のときの定数差制限を「30秒」に変更しました。
図根点観測での観測条件は下表になります。

精度区分	甲一/甲二	甲三/乙一	乙二/乙三
対回数	2 対回	1 対回	1 対回
鉛直数	1 対回	1 対回	1 対回
セット数	2 セット	2 セット	2 セット
較差制限	—	20 秒	40 秒
観測差制限	20 秒	—	—
倍角差制限	30 秒	—	—
定数差制限	30 秒	60 秒	60 秒
距離セット内較差制限	20mm	20mm	20mm
距離セット間較差制限	20mm	20mm	20mm

◆TRK 設定

平面観測、横断観測(縦横断観測オプション)の先頭画面に「TRK 設定」ボタンを配置しました。

【平面観測】

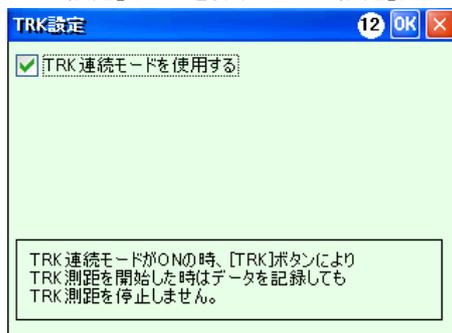


【横断観測】



◆TRK 設定画面

「TRK 設定」ボタンを押すと「TRK 設定」画面を表示します。



TRK を押して測距を開始するとデータを記録しても測距が停止しない動作が「TRK 連続モード」です。

「TRK 連続」モード設定の追加で ON/OFF の設定が行えるようになりました。

「TRK 連続モード」が OFF の時はデータ記録後測距が停止するようになります。

◆TRK 連続設定

平板観測の TS 観測の器械点指示画面と後視点指示画面に「TRK 連続」モードの設定を追加しました。

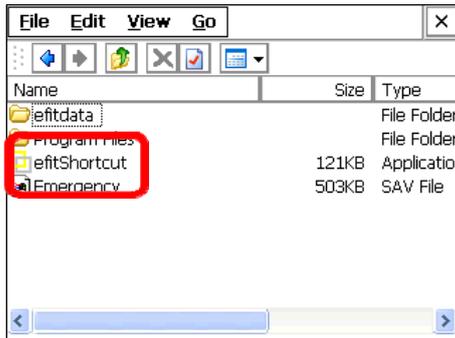


■ ショートカット作成

◆ ショートカット再作成

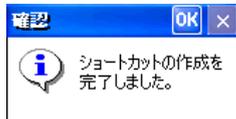
デスクトップとプログラムメニューに登録されている「efit+ショートカット」が何らかの原因で消滅した時にショートカットを再作成するツールプログラムを用意しました。

プログラムをインストールすると「¥Disk」フォルダに「efitShort.exe」が配置されます。

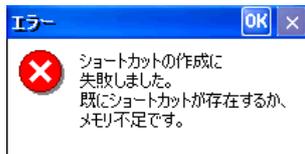


◆ ショートカット再作成の実行

「efitShortcut.exe」を起動すると「デスクトップ」と「スタートメニューのプログラム」に「efit+」のショートカットを作成し次のメッセージを表示します。



また、既にショートカットが存在する場合や、メモリ不足などでショートカットが作成できない場合は、次のメッセージを表示します



以上